

「分子標的薬治療を施行した転移性腎細胞癌における CRP の早期反応と予後についての検討」 について

(1) 研究の概要について

転移性腎細胞癌の薬物治療には、従来から行われてきた免疫療法と 2008 年に本邦で承認された分子標的治療薬があります。分子標的治療薬の登場以来、転移性腎細胞癌の薬物治療の中心となりましたが、副作用の頻度が高いことや、奏功期間の短いことなど様々な問題点があります。腎癌を有する患者さんにおいて、血液検査データの一つである CRP は、予後や病勢を反映するマーカーとして認識されており、転移性腎癌の日本人を対象とした研究においても、CRP が予後の予測や病勢を反映することが報告されております。

分子標的治療薬を投与した転移性腎細胞癌を有する患者さんの早期の CRP の値や値の変化が予後や病勢とどのように関連するか研究することは、今後、転移性腎細胞癌の患者さんの治療選択をたてるうえで重要であり、転移性腎細胞癌の治療成績を向上させると期待し、本研究を計画しました。

(2) 研究の方法について

本研究の対象となる方は 2008 年～2013 年の間に、JA とりで総合医療センターにて転移性腎細胞癌と診断され、分子標的治療薬を導入された患者さんを対象とします。対象の患者さんの、分子標的治療薬投与前後の CRP 値の推移を検討します。その結果を、これまでの診療で受けられた診療録の情報、血液検査、病理検査などと比較検討します。

(3) 試料等の保管と、他の研究への利用について

本研究で新たに採取される検査（血液検査、尿検査、画像検査など）はありません。過去の診療録に記載されている情報を用います。

(4) この研究へのご協力について

本研究に該当される方で、参加をご希望されない場合には、下記の問い合わせ先まで申し出て頂ければ幸いです。また、申し出られた場合でも不利益を被ることはありません。

(5) 個人情報の保護について

患者さまの個人情報を守ることは「個人情報の保護に関する法律」に定められて、患者さまの氏名などの個人を特定する情報は調査の対象とはならず、一切公表されません。

(6) 研究に関する情報公開について

研究成果は、個人情報の保護に十分な配慮をした上で、学会発表や学術論文として発表されることがあります。

(7) 問い合わせ等の連絡先：

研究者連絡先：JAとりで総合医療センター 泌尿器科 安田 庸輔 奥野 哲男
電話：0297-74-5551 (ダイヤルイン) (平日 9:00- 17:00)